

# 金沢SDGsミライ対話

## 第3部

## 一緒に動き出そう！ 2030年へのパートナーシップ

第3部のキーワードは、「**コラボレーション**」！

金沢で起きている他のアクションや動きにつながれたら、  
自分達のアクションも、金沢も、どんどん動き出すかも！

協力して何ができるか、一緒に考えてみましょう

### 第3部

## 対話で目指したいこと



金沢で他のアクションを考えている人達と交流する対話です。  
アクションを紹介しあうことに加え、  
それぞれの強み、できることを分かち合い、  
協力（コラボレーション）の可能性を探していきます。  
協力によってそれぞれの活動を充実させながら、金沢全体のSDGs  
達成への可能性が高まる。そのワクワク感を体験してみましょう！

自分のアクションを発表することに加え、他の人のアクションを応援するために協力できることを紹介していきます。

話そう・聴こう！



相手に協力できることを伝えよう！



コラボで生まれる可能性を実感しよう！



# 第3部

## 全体の流れ

### 導入

STEP1  
アクション  
同士のつながり  
を考える

STEP2  
コラボすること  
で生まれる可能性  
を考える

STEP3  
2030年の未来と  
自分のつながり  
を考える

### クロージング

## 第3部イントロ動画、趣旨説明

**アイスブレイク** 自己紹介「金沢といえば！」

**対話** それぞれの考えたアクションを発表する

発表を  
聞きながら

#### シートにメモする

自分のアクションとの共通点や補い合えら  
と思ったことをメモする。

#### カードで考える

相手の活動がもっと充実できるようにする  
ために自分が提供（GIVE）できそうなこと  
をGIVEカードに記入する。



**対話** 発表後、GIVEカードを発表者に渡す。  
(渡す際、感想など一言添えて)

#### シートで考える

他のアクションと協働・連携することで  
自分のアクションの可能性をどのように  
広げられるか考え、メモする

**対話** コラボすることで、自分のアクションがどう  
充実できると感じたか紹介しあう。

#### シートで考える

対話を通して感じた、これからの金沢に  
生まれるワクワク感、自分に生じた変化  
を考え、シートに記入する

**対話** これからの私のアクションを宣言しよう！

**ふりかえり** 対話をふりかえる

## 第3部ワークシート 該当箇所

金沢SDGsミライ対話 第3部  
一緒に動きだそう！ 2030年へのパートナーシップ

今、金沢全体でSDGsへの動きが始まっています。私たちのアクションも他のアクションと連動・協働することによって、相乗効果を生み出すことができます。情報を検索したり、地域で動いている人達に紹介してもらい、金沢で始まっている、考えられているアクションの情報を集めてみましょう。

1. 金沢で始まっている、考えられているアクションには、どのようなものがあるだろう？  
そのアクションと私(たち)のアクションが共有できる・補完しあえることは何だろうか？

金沢で始まっている・考えられているアクション	私(たち)のアクションと共有・補完できること

例) 私：子どもの読書活動 地域：プログラミング教育 共有：対象が学習機会の少ない子どもたち 補完：プログラミングの理解力は読書で育める

2. 他のアクションと協働・連携することで、私(たち)のアクションの持つ可能性を、  
どのように広げることができるだろう？

私(たち)のアクション × 他との協働・連携によって…

他の活動を通して  
届けることができる  
新しい人たちは？

活動内容の幅を広げ  
たり、質を高めたり  
できることは？

個別にアプローチ  
するよりも増やせる協  
力者、賛同者は？

3. SDGsへの動きが動き、広がることで、金沢に、どんなワクワクが生まれるだろう？  
私自身も、どのような新しい暮らし、仕事や活動に変わっていくだろう？

金沢に生まれそうなワクワク！ (みんながワクワク・こんなことでワクワク！)

そのワクワクした未来に向かって  
私のなにか、どう変わっていくのだろう？

## 第3部

## 準備・進め方

所要時間：約150分 想定人数：1テーブルあたり5,6人

用意するもの：筆記用具・第3部シート(人数分)・GIVEカード(人数×発表数分)

	所要時間(分)	内容	注意点
導入	12分	開会・対話の進め方説明	
	8分	アイスブレイク「自己紹介」	名前・所属・金沢と言えば！について一人ずつ話す
STEP1 アクション同士 のつながりを 考える	45分	アクション紹介 (15分×3アクション)	1アクションあたり下記のように進める ・アクション発表(6分) ・質問、連携できることについて話し合う +GIVEカードの記入、共有 (合わせて8分) ※聴いている人は、シートの1.「金沢で始まっているアクション」を使ってメモを取ったり、giveシートの記入をする
	5分	休憩	
	30分	アクション紹介 (15分×2アクション)	
STEP2 コラボすること で生まれる 可能性を考える	8分	2.「協働によって広がる可能性」 を各自記入	アクション紹介のやり取りを踏まえて、他の人の力も借りることで自分のプロジェクトが広がる可能性を考える
	12分	書いた内容をシェアする	コラボすることで自分の活動がより良くなりそうな点について話してもらう
STEP3 2030年の未来と 自分のつながり を考える	5分	3.「これからの金沢へのワクワク、 自分が変わること」を各自記入	改めて自分の思い、自分自身について考えてもらう
	15分	書いた内容をシェアし、 「私のこれからのアクション」 を話す。	一人ひとりが書いた内容を紹介し、 自分自身のこれからの宣言する それに対して、みなさんで応援の拍手を！
クロージング	10分	対話のふりかえり	一人ひとりから、ここまでの対話を通して気付いたこと、 考えたことを共有する。

# 実施方法の詳細ガイド

進行方法や項目の意味を詳しく説明しています。  
実施にあたって詳細を知りたい時に、参考にしてください。

## ① シートに沿った問い

## ② 対話の内容と流れ

## ③ 注意ポイントやファシリテーターの問いかけ例

## ④ ワークの意味

ここでこの問いについて対話をする意味や、どのような参加者の気づきを促すものなのかについて説明しています。

### 金沢SDGsミライ対話 第1部

#### 想像してみよう！ 2030年 私のウェルビーイング

##### 1. 2030年、身体的にも、精神的にも、社会的にも満たされている“幸せな自分”って？

暮らし方、ライフスタイルは？大切にしていることは？	家族、友人と何をしている？
仕事や社会活動は？やりがいは？	どのようなつながり、ネットワークがある？

##### 2. “2030年の幸せな自分”は、どんな街なら実現できるのだろう？

###### 「金沢ミライシナリオ」から考えてみよう

- ① 「金沢ミライシナリオ」を読み、自分の未来のためにも、こうなってほしい、これが広がる  
といいなと思うこと（文、キーワード、フレーズ）を、書き出してみよう。
- ② ・③ 「こうなってほしい、これが広がったらいいと思うこと」と「今の金沢」では、どのよ  
うなギャップがあるか、考えてみよう。（まだない、あるが限られている、今のままでは無理など）

①こうなってほしい、これが広がったらいいな と思うこと	② 目指す姿に対して 今の金沢は何点？	③ その理由(理想と現実のギャップに なっていること)
	/100	
	/100	
	/100	
	/100	
	/100	

##### 3. 「金沢ミライシナリオ」に描かれた未来やアクションを実現するには？

- ① 「金沢ミライシナリオ」に描かれた未来やアクションを実現するには、  
“今のまま”ではなく、何が、どう変わることが大切なのだろう？

--

- ② 金沢ミライシナリオを実現するため、①で考えた変化を起こすために、金沢の人達や  
専門家の方たちと話してみたいこと、一緒に考えたいこと、チャレンジしたいことは？

--

## 第3部

## 対話の詳細ガイド①

### ○趣旨説明

第3部では、第1・2部を通してできた私たちのアクションを他の人たちと共有し、町で動くアクションがコラボレーションして、お互いのアクションの可能性を広げるためには？を考える。

### ○アイスブレイク「自己紹介」

参加者が名前、所属、金沢と言え！を一人ずつ話す。

#### ●ワークの意味●

第3部では、他のアクションを持っているチームや、地域で活動している人などを多様な立場の人に参加してもらい、新しい出会いを生むことが大切です。金沢の仲間の存在を感じましょう！

1. 金沢で始まっている、考えられているアクションには、どのようなものがあるだろう？そのアクションと私(たち)のアクションが共有できる・補完し合えることはなんだろう？

集まったメンバーが1人ずつ自分のアクションを紹介する。発表を聞いているメンバーは、話を聞きながらポイントをシートへメモする。

アクションを聞いて、協力できそうなことや紹介・提供できることをGIVEカードに記入し、発表後に本人に手渡す。

#### ●ワークの意味●

他のアクションに自分の提供できることを考える過程が、自分の活動の強み発見にもなります。

他の人からGIVEカードをもらうことで他のアクションに手伝ってもらえるイメージを持てるように促し、アクションをお互いに相互作用できることが見えてくることを目指しています。

### 金沢SDGsミライ対話 第3部

#### 一緒に動きだそう！ 2030年へのパートナーシップ

今、金沢全体でSDGsへの動きが始まっています。私たちのアクションも他のアクションと連動・協働することによって、相乗効果を生み出すことができます。情報を検索したり、地域で動いている人達に紹介してもらい、金沢で始まっている、考えられているアクションの情報を集めてみましょう。

1. 金沢で始まっている、考えられているアクションには、どのようなものがあるだろう？そのアクションと私(たち)のアクションが共有できる・補完しあえることは何だろう？

金沢で始まっている・考えられているアクション	私(たち)のアクションと共有・補完できること

例) 私：子どもの読書活動 地域：プログラミング教育

共有：対象が学習会の少ない子どもたち  
補完：プログラミングの論理力は読書で育める

2. 他のアクションと協働・連携することで、私(たち)のアクションの持つ可能性を、どのように広げることができるだろう？

私(たち)のアクション × 他との協働・連携によって…

他の活動を通して届けることができる新しい人たちは？	
活動内容の幅を広げたり、質を高めたりできることは？	
個別にアプローチするよりも増やせる協力者、賛同者は？	

3. SDGsへの動きが動き、広がることで、金沢に、どんなワクワクが生まれるだろう？私自身も、どのような新しい暮らし、仕事や活動に変わっていくだろう？

金沢に生まれそうなワクワク！  
(にんげんがワクワク・こんなことでワクワク)

そのワクワクした未来に向かって私のなかが、どう変わっていくのだろう？

--	--

## 第3部

## 対話の詳細ガイド②

### 2. 他のアクションと協働・連携することで、私(たち)のアクションの持つ可能性を、どのように広げていくことができるだろう？

他のアクションとの共通点や補完できるポイントから、それらのアクションが自分のアクションがよりよくなっていくためにどんな役割を果たしているのかシートを使って考える。

#### ◎ワークの意味◎

他のアクションについて理解を深めた後に、再度自分のアクションの実現可能性や可能性を広げることに立ち戻ります。

3つの項目を自分なりに具体化することを通して、自分達だけではリーチできなかった人々や活かせる資源が見えてきて「自分達だけで進めるよりも、他の人の力を使った方が良い方向に進みそう！」と思えるようになることを目指しましょう。

### 金沢SDGsミライ対話 第3部

#### 一緒に動きだそう！ 2030年へのパートナーシップ

今、金沢全体でSDGsへの動きが始まっています。私たちのアクションも他のアクションと連動・協働することによって、相乗効果を生み出すことができます。情報を検索したり、地域で動いている人達に紹介してもらい、金沢で始まっている、考えられているアクションの情報を集めてみましょう。

#### 1. 金沢で始まっている、考えられているアクションには、どのようなものがあるだろう？ そのアクションと私(たち)のアクションが共有できる・補完しあえることは何だろう？

金沢で始まっている・考えられているアクション	私(たち)のアクションと共有・補完できること

例) 私：子どもの読書活動 地域：プログラミング教育

共有：対象が学習機会の少ない子どもたち  
補完：プログラミングの論理力は読書で育める



#### 2. 他のアクションと協働・連携することで、私(たち)のアクションの持つ可能性を、どのように広げることができるだろう？

私(たち)のアクション × 他との協働・連携によって…

他の活動を通して届けることができる新しい人たちは？	
活動内容の幅を広げたり、質を高めたりできることは？	
個別にアプローチするよりも増やせる協力者、賛同者は？	

#### 3. SDGsへの動きが動き、広がることで、金沢に、どんなワクワクが生まれるだろう？ 私自身も、どのような新しい暮らし、仕事や活動に変わっていけるだろう？

金沢に生まれそうなワクワク！  
(こんな人がワクワク・こんなことでワクワク)

そのワクワクした未来に向かって私のなになが、どう変わっていくのだろう？

--	--

## 第3部

## 対話の詳細ガイド③

3. SDGsの動きが動き、広がることで、金沢にどんなワクワクが生まれるだろう？私自身もどのような新しい暮らし、仕事や活動に変わっていきけるだろう？

最後に、改めて「私」の視点に立ち返って考える。  
金沢のまちの持つ可能性を思い起こしながら、地域の変化に合わせて自分自身がどう変化するか想像してみる。  
共有するときには、「私のこれからのアクション宣言」として自分が変わる・変わりたいことを発表する。

### ◎ワークの意味◎

第3部の最後には、改めて今回のアクションのスタートでもある「私」の視点に立ち戻って考えます。様々なアクションが地域に広がっていくことで金沢というまちの未来にワクワクできることを見つけ出しましょう。

そして、変化を起こすアクションを起こすには、まちと一緒に「私」自身も変わっていく必要があります。最後に、自分自身が新しい考え方、動き方、コミュニケーションを始めることを自覚してもらいましょう。

### ○ふりかえり

これまでの対話を通して、考えたことや気づいたこと、ワクワクしたことなどを一人ずつふりかえり共有します。

### 金沢SDGsミライ対話 第3部

#### 一緒に動きだそう！ 2030年へのパートナーシップ

今、金沢全体でSDGsへの動きが始まっています。私たちのアクションも他のアクションと連動・協働することによって、相乗効果を生み出すことができます。情報を検索したり、地域で動いている人達に紹介してもらい、金沢で始まっている、考えられているアクションの情報を集めてみましょう。

1. 金沢で始まっている、考えられているアクションには、どのようなものがあるだろう？  
そのアクションと私(たち)のアクションが共有できる・補完しあえることは何だろう？

金沢で始まっている・考えられているアクション	私(たち)のアクションと共有・補完できること

例：私：子どもの読書活動 地域：プログラミング教育

共有：対象が学習機会の少ない子どもたち  
補完：プログラミングの論理力は読書で育める

2. 他(たち)のアクションと協働・連携することで、私(たち)のアクションの持つ可能性を、どのように広げることができるだろう？

私(たち)のアクション × 他(たち)との協働・連携によって…

他の活動を通して  
届けることができる  
新しい人たちは？

活動内容の幅を広げ  
たり、質を高めたり  
できることは？

個別にアプローチする  
よりも増やせる協  
力者、賛同者は？

3. SDGsへの動きが動き、広がることで、金沢に、どんなワクワクが生まれるだろう？  
私自身も、どのような新しい暮らし、仕事や活動に変わっていきけるだろう？

金沢に生まれそうなワクワク！  
(こんな人がワクワク・こんなことでワクワク)

そのワクワクした未来に向かって  
私のなにが、どう変わっていくのだろう？

--	--